

総務委員会会議録（要点筆記）

令和4年1月11日（火）
委員会室

午後1時45分 開会

○山田清一委員長

ただいまから総務委員会を開会します。

臨時議会に引き続きでのご協議となり、皆さまお疲れのところだと思いますが、ご協力をお願いいたします。

大変遅くなりまして申し訳ありませんでしたが、委員会報告の委員長素案を本来でありましたら昨年末にお送りする予定でしたが、（お送りするのが）先日6日となってしまいましたこととお詫びいたします。今後、委員の皆さまからご意見を頂戴し、肉付け、磨き上げて、3月定例会の最終日に報告をしたいと考えていますのでご協力をお願いします。今回お送りさせていただきましたものは、あくまで、素案の素案です。今日、皆様に中心としてご協議いただきたいことは、最後の提言のところ、このような形式の提言で良いのか、私もこれまで、何年も委員会委員として委員会報告作成に携わってきましたが、今回提言の表現方法を大きく変えています。内容もそうですが、提言のあり方もこのような形で良いのか。また、そもそも、委員の皆様が概ね、このこと（半田市への民間人材活用の導入）については賛成をされているという前提で素案を作っています。その上で、中には反対の委員もいらっしゃるかもしれませんので、その点も含め、皆様とご協議を進めていきたいと考えています。

しばらく休憩します。

午後1時48分 休憩

<休憩中の主な協議内容>

- 委員長案は案の案として、極力シンプルに作っており、全体を網羅していません。網羅すると膨大な文字数になってしまうため。「行政における民間人材の活用」というこのテーマは内容が多岐にわたり、この素案で1点示しているのは「まずやりましょう！」と言うことで、先進的に取り組みをされているところに質問した中では「デメリットは見つからない」ということ。（デメリットを）強いて言うなら、受け入れ体制。素案にある提言の3点目にもありますが、取り組みが成功するか否かについては「受け入れ側」にあると捉えていますので、まず、着手すること、しか書かれていません。その後、その仕組みを磨き上げていくということまでは踏み込んでいません。そういったところも、組み込んで作っていかねばいけない、と思っていますが、現時点では案の案、皆さんにご意見いただきながら、これを加除修正していきたいと思います。今後、何回か委員会を開催し、ご協議をしていただきたいと思っています。
- 導入、着手を提言することに賛成しているので、素案を煮詰めていくことで良いと思う。報告のまとめ方については、委員会としての意図をわかりやすく、伝えたいことが伝えられれば方式（書きぶり）変更しても問題はないと考える。（素案の表現でも問題ない）
- 4ページの1行目「役所文化」、こういった言葉が実際あるのか、また、「DX」「VMV」など説明を要する言葉が複数ある。

- 「行政における民間人材の活用」とはどのようなものか、を考えながら、進めてきたが、実際先進地の取り組み状況を学ぶ中で、既存の職員にも良い影響があるなど、職員にとってのメリットがあることを知り、提言の1点目、2点目にも共感、納得できる。（方向性については概ね賛成である）今後については、十分な協議のうえ、進めていきたいと考える。
- 提言の内容は概ね良いと考える。提言で「人材の確保」「募集・採用」「能力を発揮できる職場環境」の3点が挙げられており、その3点が重要なことであると認識しているが、1点、民間のノウハウ、仕事のやり方加えるべき点について、先ほど「役所文化」という言葉への指摘がありましたが、「役所の王道とされる仕事のやり方」を民間的な発想で中和すると言いますか、取り入れることで、さらに良い効果が生まれると思うので、その点を追記すべきと考えます。
- 提言の2点目、「解決したい課題が何で」「任せたい仕事は何なのか」について、市側が現状に課題を感じていない場合、第7次総合計画を策定し、機構改革を行い、総合計画を推進するための体制を整えたことで民間人材なくても実施していけるという判断をされる可能性が高く、また、外部人材を入れるための枠を作らなければいけないということになりかねないため、提言のところで、上位政策の見直しについて指摘するべきではないか。議会側は既存の職員のスキルでは対応しきれない市民ニーズが出てきているから、外部人材の活用が必要となると考え導入を提言しているが、半田市の現在の総合計画ではその想定はされていないため、既存の組織で事業を進めていけると判断し外部人材の導入はされない。（具体的には）強化したいところを検討する。（リモート視察を行った）浜松市では農林水産物の魅力発信や、観光に関しなど5項目くらいのプロジェクトリーダーを募集している。半田市についても、6次産業化の推進などそういったプロジェクトが生まれ限りは（外部人材の）必要性を感じない。課題とするとなかなか出てこないと思うので投げかけ方、表現を検討すべき。
- 「何で」等の言葉としての書き方も適切な表現にすべき。
- （外部人材を）採用することで解決したい課題については、自分の中では概ね定まっている。議会でも度々議論されてきている、中心市街地の活性化、シティプロモーション、ふるさと納税など、議会としての良いアイデアがなかなか出ない状況の中で、推進、改善を図るなどの対策をしていかなければならない分野において外部人材を導入するという手法が適しているのではないかと、という考えがある。
- 基本的には久世市長は選挙公約で挙げていた「副市長。プロジェクトリーダーの公募」にもあり、市長は前向きに捉えられていると思うが、市としての考えはどのようなか。委員会としては、（外部人材の導入は）市民にとっても、市にとってもプラスになるという考えである。市側として、民間人材を入れなくても計画通りに進めていける、という判断ができるため、その点をどう提言で示すかは重要である。等。

午後2時16分 再開

○山田清一委員長

休憩を解き、会議を再開します。休憩中にご意見いただきました点について、修正し、事務局からメールで皆様にお送りします。

次回の委員会は2月1日（火）午後2時から委員会室で行いたいと思います。また、その次は2月17日（木）午後、全員協議会終了後に委員会室で行いたいと思いますので皆様ご予定をお願いします。

この件でほかに、何かありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、この件はこれで終了します。

続きまして（２）その他について、を行います。

その他として、委員から何かございませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、この件はこれで終了します。

以上で、本日予定しておりました議事は、すべて終了いたしました。本日の委員会はこれにて閉会いたします。

午後 2 時 20 分 閉会